



かわらばん

良城小 URL: <http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ryojo-e/>

良城小学校
学校だより 2月号
児童数 802名
令和2年1月28日

「うさぎ追いしかの山、こぶな釣りしかの川」 初夢の実現

校長 増野 淳一

私は、3年前、本校への赴任が決まったとき、最初に「良城だからこそその教育」として思い描いたのは学校林での自然体験活動でした。

しかし、本校の学校林は学校から何kmも奥にあり、残念ながら、授業としての日常的な活動は距離的・時間的に難しく実現できませんでした。

赴任時の初夢が消えようとしていた昨年12月、突然、夢が実現に向かって動き始めたのです。良城小横には自然豊かな川があります。運動場の下を流れる木崎川です。木崎川は龍造寺の鼓の滝を源流としており、河川改修によりコンクリート護岸となつていますが、川底には自然の草が生え、自然のホタルが舞う水のきれいな川です。

しかし、この川は本校、児童にとっては近くて遠い川でした。運動場フェンス沿いのツツジの木が3m近くに伸びており、運動場からの視界を遮っていました。

12月と1月に、このツツジを吉敷地区環境づくり協議会の皆さんに伐採していただきました。環境協議会の皆さんは、昨年度から、吉敷川での5年生の環境学習や本校周辺の樹木の伐採など、本校の教育活動に関わっていただいています。

河川沿いには、平坦な市有地があり、これまでも、PTA 作業で草刈りをしていただいていたのですが、活用できるほどには至っていませんでした。ツツジが30cmほどの高さに切りそろえられた今、川が本校の真横に再び見えるようになりました。この場所を、環境づくり協議会の皆さんにより、日常的に自然体験ができるように整備を進めていただくことになりました。

現在、本校の一番の特色として、ホタルの飼育をしています。学校横の木崎川を活用すると、児童によるカワニナの採取や放流をすることができます。遠い吉敷川よりもさらに近い川での放流活動（飼育幼虫の一部を放流。もちろん吉敷川放流も継続）は、児童の意欲をさらに増すことでしょう。低学年の川遊びも可能かもしれません。ツツジが咲く春には最高のロケーションでの屋外給食もできるでしょう。総合的な学習の場、児童会活動の場としても可能性があります。

河川広場を常に使える状況にするには、学校だけでなく、PTA やおやじの会、地域の方々の継続的な支援が必要ですが、この広場を地域と学校の連携の象徴的な施設とすることでそれも可能ではないかと思えます。

「うさぎ追いしかの山、こぶな釣りしかの川」 真横の川にホタルが舞う学校。良城小の自慢がまた1つ増えそうです。良城の子供達は本当に幸せです。夢は叶うものですね。皆さん、本当にありがとうございます。

